

八木則男先生との集い ～先生の米寿をお祝いする会～

幹事：海洋 55 山本浩司・海洋 57 馬淵亨・海洋 59 西尾雅人
海洋 60 玉井恒治・海洋 61 岡部登・海洋 61 國富和眞・土海 7 田中博文

八木則男名誉教授の米寿の祝いを、11月18日に京都駅近くの都ホテル八条で、64名の参加を得て開催しました。卒論生、修論生、博論生など、八木先生が指導した多くの研究室学生が北は北海道、南は沖縄と全国から駆けつけてくれました。



司会は國富和眞さん(海洋 S61)が努め、まず、榎明潔先生(関係教員)と矢田部龍一先生(関係教員)が祝辞を述べました。続いて参加者の中で最古参の松村真一郎さん(海洋 55)の乾杯

の音頭で賑やかな祝賀会が開始されました。

食事も一息ついたところで参加者による自己紹介と感謝の辞です。進行は、山本浩司さん(海洋 55)と岡部登さん(海洋 61)が努めました。事前に送ってもらっていた各自の思い出に残る写真と八木先生へのお祝いの一言を交えたスライドを映しながら、学年毎といった単位での参加者による簡単な自己紹介と感謝の言葉です。一人一人の持ち時間は短いながら研究室時代で大騒ぎした若者が、白髪が混じりの姿に変わり、それとともに社長、取締役、部長などとして活躍している様を見るにつけ、月日の流れを感じさせられました。また、それとともに嬉しくもあり、懐かしくもあるひと時でありました。八木先生は本当に懐かしそうに、話に耳を傾け、また、スライドに見入っていました。

会の終わりは、八木先生ご夫妻への花束の贈呈です。花束贈呈の大役は最も若い遠藤学さん(環建 17)と曾我恭匡さん(環建 17)が努めました。そして、最後に八木先生が万感の思いで感謝の言葉を述べられました。

2時間半という祝賀会の時間はあっという間に過ぎ、八木先生ご夫妻のますますのご多幸とご健勝を願って玉井恒治さん(海洋 60)のリードのもと万歳三唱の声高らかに、祝賀会を盛大に締めくくりました。

